

特許調査の基本と 検索ノウハウからパテントマップ作成まで

【講座番号】：ce210201

【開講日】：2021年2月17日(水) 3ヶ月コース

【受講料】：~~1名44,000円(税込、テキスト付き)、2名で受講の場合55,000円(税込、テキスト付き)、3名で受講の場合66,000円(税込、テキスト付き)~~

⇒1名38,500円(税込、テキスト付き)、2名で受講の場合49,500円(税込、テキスト付き)、3名で受講の場合60,500円(税込、テキスト付き) 講師紹介割引！

本講座は開講日に合わせてテキストを郵送いたします。回答は、Microsoft Word形式で、電子メールで提出していただけます。各講の添削結果や模範解答は弊社から郵送か電子メールでお送りさせていただきます。詳細内容やスケジュールはHPでご確認下さい。 →→→ <https://www.rdsc.co.jp/course/ce210201>

指導講師：(株)IP調査塾 代表 特許情報活用コンサルタント 松尾 健司 氏

モノづくり企業がオリジナル商品を手掛けるときに、特許に対するケアは必須です。事業を安全に進めるためにも、また、商品開発のヒントにもなる特許情報をうまく活用しない手はありません。ただし、特許情報を効果的に活用するためには、特許調査のスキルと、特許調査により抽出された特許を使い勝手よくまとめ上げるスキルを高める必要があります。

そこで本通信教育講座では、特許調査の基礎から始まり、各種の特許調査を実施するうえで知っておくべきノウハウについて解説するとともに、特許調査結果を「見える化(全体俯瞰)」するためのパテントマップ作成のコツについてもお伝えします。どのようにして特許情報を効率的に集めるのか、また、その集めた特許情報を「見える化」するためのパテントマップ作成について解説することで、ワンランク上の特許情報の活用スキルを手にしていただけます。検索式立案実習を含む、演習課題の添削フィードバックを通じて理解を深めていただけます。

第1講 2月17日(水) テキスト配本

第2講 3月17日(水) テキスト配本

第3講 4月16日(金) テキスト配本

第1講:特許調査の基礎

【趣旨】

良い特許調査を実施するためには、適切な実施ステップに則り、特許調査プロセスを実行していく必要があります。

第1講では、特許調査と検索の実施プロセスについて、各工程ごとの注意点について解説するとともに、モレが無くノイズが少ない検索を実現するために必要な「多面的アプローチ」について詳しく解説します。また、特許調査を実施する際に避けては通れない、特許分類の活用についても説明します。

【プログラム】

1. 特許調査の種類と情報検索の考え方
2. 特許検索を始める
 - ・番号から調べる
 - ・キーワードを使って調べる
3. 特許調査の実施プロセス
 - ・調査主題の把握
 - ・予備検索(プレサーチ)
 - ・多面的な検索式の策定
 - ・本検索とスクリーニング
 - ・報告書の作成
 - ・審査経過の確認
4. 検索タームとしての特許分類
 - ・国際特許分類(IPC)
 - ・FI(ファイルインデックス)
 - ・Fターム(File Forming Term)
 - ・特許/実用新案分類照会(PMGS)

《演習問題》

第2講:特許調査のかんどころ

【趣旨】

特許調査と検索の実施プロセスの基礎を学んだ次には、特許調査の精度を高めるために知っておくべきノウハウについて学んでいきましょう。

第2講では、モレが無くノイズが少ない調査を実現するためのノウハウについて、特許調査の種類ごとに分けて解説していきます。また、検索事例研究から学んだ検索事例の解説を行うとともに、演習課題として、検索式立案実習にチャレンジしていただけます。

【プログラム】

1. 各種特許調査に共通する調査ノウハウ
 - ・近接演算(近傍検索)の活用
 - ・避けたいNOT検索
 - ・類義語キーワード展開の難しさ
 - ・特許分類表の見方、探し方のコツ
2. 先行技術調査のかんどころ
 - ・全文検索とFターム検索の活用を心がける
 - ・実施例を狙った検索式を立案する
3. クリアランス調査のかんどころ
 - ・死滅特許は機械的に除外する
 - ・請求項(クレーム)の読み解き方
4. 無効資料調査のかんどころ
 - ・審査経過書類を確認する
 - ・クレーム対比表について
5. 特許検索事例研究について
 - ・活動の進め方
 - ・発明の認定と検索式の立案
 - ・検索式持ち寄り報告会
 - ・題材公報と引用文献との対比
 - ・検索報告書からの学び
 - ・推奨検索式と学びのポイント

《演習問題》

第3講:特許調査結果を

「見える化」するパテントマップ作成

【趣旨】

特許調査により抽出された、関連特許群の全体像や個々の特許公報の中身を「見える化」するやり方について解説します。

第3講では、特許のポイントを要約してカード化することから始まり、それを層別体系化した後に、全体像を俯瞰するための技術系統分布図や時系列流れ図を作成するまでのプロセスについて解説します。また、特許情報を活用して開発テーマを模索する事例についても紹介します。

【プログラム】

1. 特許調査結果をまとめる
 - ・一覧表の作成
 - ・層別(グルーピング)と体系化まとめ
2. 技術系統分布図について
3. 時系列流れ図について
4. 開発テーマ探索における特許情報活用事例
 - ・新用途・新分野模索型のテーマ探索
 - ・課題・ニーズ模索型のテーマ探索
5. アイデア創出活動におけるパテントマップ活用事例

《演習問題》

通信教育講座「特許調査」講師紹介割引申込書

FAX : 03-5857-4812

会社・大学				電話番号	
郵便番号 〒	住所				
氏名①	所属		E-Mail		
氏名②	所属		E-Mail		
氏名③	所属		E-Mail		
案内登録(無料) ※複数選択可	<input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> 郵送	●案内登録について● すでにご登録済みの方も再度ご確認ください。案内登録をしていただくと、セミナー聴講料の割引などを適用いたします。なお、一部のセミナーに適用される特典「2名同時申込で2人目無料」に関しては、両名の登録が必須です。			